



いわき

※岩城中学校の学校評価No.2を載せます。今年度を反省し、来年度に生かしていきたいと思えます！
 岩城中学校学校評価シート No.2

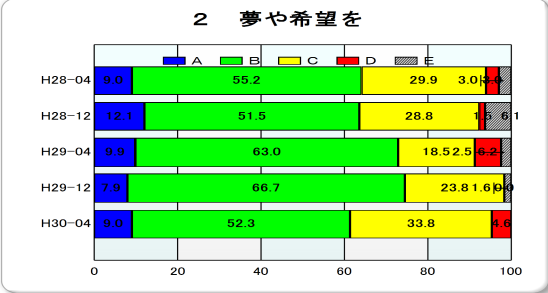
評価領域 生徒指導

重点目標 人間性を磨き、たくましく生きる生徒の育成

現 状

内容(基準)	時期	A	B	C	D	E	評点
2 お子さんは、夢や希望をもって生活していると思いますか？	H28-04	9.0	55.2	29.9	3.0	3.0	2.6
	H28-12	12.1	51.5	28.8	1.5	6.1	2.6
	H29-04	9.9	63.0	18.5	6.2	2.5	2.7
	H29-12	7.9	66.7	23.8	0.0	1.6	2.8
	H30-04	9.0	52.3	33.8	4.6	0.0	2.7

(A:はっきりもっている B:もっている C:あまりもっていない D:もっていない E:わからない)



様々な取組を通して、学校生活に満足感と充実感が高まってきていると感じる。学校不適応(不登校傾向)の生徒については少しずつ改善の方向が見えてきているが、まだまだ課題は多いと捉えている。いじめ・悩み・Q U等の調査を定期的実施し、早期発見と即時対応を目指している。ICTの発達による生徒指導的に深刻な問題も多くなってきている。全体としては学校生活に対する満足度が数字的には向上してきたが、学習面や生活面の悩みを抱えている生徒は多い。特に近年、小学校から入学してくる生徒に基本的な生活習慣に課題のある生徒の増加が最大の課題である。夢や希望の面で、もっていない・わからない(C+D+E評価)と感じている保護者は3割程度である。キャリア教育等さまざまな取組はしているが、夢や希望をもてないと捉えている保護者の割合をできる限り少なくしたい。保護者はもちろんのこと、学校運営協議会や様々な機関と連携・協力し、寄り添う指導で、生徒一人一人の夢や希望を育み、安心感を得られる学校づくりに励みたいと考える。

P 計画

具体的な目標 2: お子さんは、夢や希望をもって生活していると思いますか? A+B評価を80%以上を目指す。(E評価「わからない」0%を目指す。)

目標達成のための方策

- 各学年の各学級に担任と副担任を配置し、チームで学級力・学年力を高め、さらにはチーム意和氣(全職員で)で生徒指導にあたり、学校力を高める。
- 夢や希望・目標を明確にし、生きる力・氣力高め、計画的なキャリア教育を推進する。
- 生徒指導の3機能(自己存在感を与え、共感的人間関係を育成し、自己決定の場を設定する)を生かした学級づくり、授業づくり、生徒会等の推進
- 岩城中の伝統「3本柱とノーチャイム制」に誇りをもたせ、人間としての成長を目指した活動を推進する。
- 諦めない気持ち「氣力」と活力に満ちた心と身体をつくる健康安全教育を推進する。4つのCH [Chance Change Charge Challenge]
- 和やかなあいさつと爽やかな返事運動を推進する。
- 「意和氣チャレンジプラン」で小中連携の意識化を図り、生徒・保護者への啓発をする。
- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を推進し、家庭地域の力と心を双方向的に生かす。

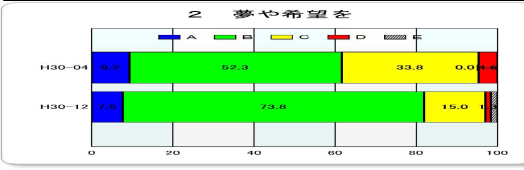
具体的な取組状況

- チーム学校力として、『意和氣の力と心でチャレンジ! 2018F』をスローガンとし、『氣力』を前面に出し、ことある毎に、4つのCH(チャンス、チェンジ、チャレンジ、チャレンジ)を意識化しながら志気を高めている。
- 岩城中の伝統である3本柱「黙想の時間」「自問清掃」「全校武道」と「ノーチャイム制」を維持・継続・深化しようと生徒会も機能させながら取り組んでいる。
- 「あいさつ」運動を生徒会も機能させながら啓発し、返事も強化している。
- 3機能を意識しながら、生徒に寄り添い、教え、導くように取り組んでいる。
- 多様な生活アンケート(生活・いじめ・Q U)を有効に活用して、即時対応しながら生徒指導に生かしている。
- 地域連携安心・安全推進事業の指定を受けたこともあり小中連携し、9年間を見通した防災教育について見直しを図っている。
- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域運営協議会を推進し、「意和氣チ

実践

「チャレンジプラン」を改善作成・全戸配布した。年2回の「小中見学会」を充実させ、小中連携の意識化を図り、家庭・地域の力と心の啓発をしている。

達成状況	内容(基準)	時期	A	B	C	D	E	評点
	2 お子さんは、夢や希望をもって生活していると思いますか？		H30-04	9.2	52.3	33.8	4.6	0.0
		H30-12	7.5	73.8	15.0	1.3	2.5	2.8



(A:はっきりもっている B:もっている C:あまりもっていない D:もっていない E:わからない)
 A+B評価は81.3%で、目標達成できた。E評価は2.5%となり、目標達成には至らなかった。

自己評価	(評価)	<p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中連携意識は深まってきている。小学校6年生による岩城中学校の学習、三本柱等体験も定着してきた。また、今年度も小一中9年間における学習習慣と生活習慣(意和気チャレンジプラン)を改善して作成し、全戸配布することができた。 ○学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域運営協議会を推進し、「小中見学会」は定着してきた。 ○『意和気の力と心でチャレンジ!2018F』をスローガンとして『氣力』を前面に出し、4つのCHを意識化し、チーム学校力としての志気が高まってきたと感じる。 ◆特別に支援の必要な生徒が多くなった。学校生活不適應生徒への対応についての課題・問題が多くなってきた。 	C 評価
	B		

評価基準 ← A:具体的な活動がなされ目標を達成できた B:具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C:具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

学校関係者評価と意見	A	<p>○E評価が2.5%と目標達成には至らなかったが、A+Bが80%以上でありA評価でも良いと思う。</p> <p>○校長先生の試みた「ツーウェイ」は真に生かされており、学校見学会には保護者・地域・学校の意見情報を発信し、反映されていると思う。</p> <p>○伝統の三本柱を次年度にも理解と実践をしていただき、中学校生活が子ども(生徒)達にとって充実感と楽しい思い出として残るように頑張ってください。</p> <p>○夢や希望は、家庭内での話し合いによって生まれるものだと思います。これからも保護者の皆様には、子ども達と良い関係であってほしいと思います。</p> <p>○目標達成できているので大変良いと思います。</p> <p>○校報「いわき」で日頃の生徒の活躍や日常生活を知ることができている。特に「ツーウェイ」で保護者の生の声を取り入れ、学校の取組を積極的に発信していて、学校・保護者・地域の連携がしっかりしていると思う。</p> <p>○岩中伝統の三本柱は、健やかな心と体、豊かな人間性を育むための原点になっていると思います。自問や黙想で自分を見つめることができている成長していると思います。</p> <p>○子育てするのに大変難しい時代になったことを感じます。伝統の三本柱もしっかり子ども達の身に付くようになってほしいと思います。</p> <p>○教員の先生方のおかげで小学校からあがってきた頃よりは、年々、学力が上がってきていると思う。先生方が授業づくり、改善への取組など、頑張ってくださいと思っています。成果が上がっていると思う。</p> <p>○A+Bで8割以上はすばらしいと思う。今後も維持できるようにお願いします。</p> <p>○E評価が増えたのはアンケートの提出率も関係していると思われるので、目標の達成状況はかなり高いと思いました。</p> <p>○『氣力』を前面に出し、4つのCHを意識化し、チーム学校力としての志気が高まってきたと感じたことは何よりであり、それはとりもなおさず岩城中学校の伝統である3本柱とノーチャイム制の継続をはじめ、小中との連携や創意工夫された様々な取組の成果であると評価したい。</p> <p>○特別に支援の必要な生徒が多くなってきたことは、非常に悩ましいことであり、その対応に苦慮されているのが伺えるが、保護者との密なる連携を図るとともに、スクールカウンセラーとの面談の時間を多くとれるよう強い要望を継続し、少しでも改善されるよう願うものである。将来を担う子どもたちは「地域の宝」です。</p> <p>○多感な時期の子どもたち故、親御さんも子どもの状況をつかみとれないこともあるのではないと思う。また、子ども自身も不安定な子もいることを考えればE判定の2.5%は?である。Bが大幅にアップしていることを評価すべきだと考える。</p>	C 評価
	(A A B A A A B A A A)		

学校運営協議会委員の方の評価で、一番多かった評価です。

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<p>○今年度の取組による生徒の姿勢と成果について一定の評価は得られたので、来年度も具体的にさらに目標を絞って取り組んでいけたら良いと思う。</p> <p>○学校運営協議会における力と心の協力も得ながら、保護者及び地域と双方向のコミュニケーションで、連携をさらに深めていけたらと思う。</p> <p>○特別に支援の必要な生徒や学校不適應生徒の対応について、関係機関とも連携しながら、研修を重ね、多面的に取り組んでいかなければならない。</p>	A 行動
-----------------------	---	------